

<別紙>

排出削減事業計画の概要

排出削減事業の名称	多摩源流 小菅の湯におけるボイラーおよび吸収式冷温水発生機の電気式高効率ヒートポンプへの転換による省エネ事業
排出削減事業者	財団法人 水と緑と大地の公社
排出削減事業を実施する事業所	多摩源流 小菅の湯 (用途：温浴施設、所在地：山梨県北都留郡小菅村)
排出削減事業共同実施者 (国内クレジット保有予定者)	東京電力株式会社
その他関連事業者	東京都市サービス株式会社
国内クレジット認証期間	2008年8月1日～2013年3月31日
排出削減方法論 (方法論番号・方法論名称)	002・ヒートポンプの導入による熱源機器の更新
排出削減事業概要	(排出削減事業場所の画像) 
	(排出削減事業実施前の設備概要) ・ 重油焚温水ボイラー ・ 灯油焚吸収式冷温水発生機
	(排出削減事業実施後の設備概要) ・ 水熱源ヒートポンプ ・ 空気熱源ヒートポンプ
排出削減量	約 947 トン (参考：203t-CO ₂ /年)

約 947 トンは 5 年間累計の排出削減見込量。203t-CO₂/年は単年度の排出削減見込量(ただし、2008 年度のみ 135t-CO₂/年)。稼働状況等により、実際の削減量は変動する可能性がある。